



2016
議長と語る
TAKEO 集
新春

8,000km の距離を越えて

絆をつなぐ 世界とつながる

30年以上に渡り交流を続ける武雄市と米国セバストポール市。
今年も新たな仲間が加わり国際交流の輪が広がっていく。



議長 新年あけましておめでとうございます。今回は、たけおワールドフレンズの会長としてアメリカ・セバスト

ポール市との姉妹都市交流事業にご尽力いただいている大渡幸雄さんにお越しいただきました。どうぞよろしくお願います。

大渡 あけましておめでとうございませす。日頃私たちの活動に多大なご理解とご協力をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

**中学生時代の経験が
子どもをたくましくする**

議長 姉妹都市となって30年以上になります。武雄市の会員数は現在何名くらいでしょうか？

大渡 約160名ほどですね。昭和60年の旧山内町時代に姉妹都市を結び、交互に互いの都市を訪問するという、1年交代のキャッチボールをしています。交流が始まって30年以上経ちます

世代を超えてつながる絆

議長 子どものときに交流を経験し、自分の子も行かせてやりたいという親がかなりおられると聞きます。これも素晴らしいことだと。今後交流が続く一番の原動力となるのではと期待感もあるところです。

大渡 現実に親子2代、家族3代で訪問された家庭も出てきています。事業の運営にも、訪問を経験した子たちが

ので、その当時15、16歳の少年少女がもう45、46歳。中堅的な立場で責任をもって社会に貢献し仕事をしている状況です。高校・大学で留学された方や国際的な仕事に就かれた方もおり、子ども時代の経験が今の国際社会の中で大変役に立っているのではないかと思います。今の子どもたちは幸せですね。

議長 何より交流を通して度胸がつく。英語ができなくても参加できますよというPRをしていきたいですね。